

導入事例 2

株式会社HDC

IT関連業

所在地 ● 札幌市中央区南1条西10丁目2番地 南一条道銀ビル
電話番号 ● 011-261-5502
代表者 ● 代表取締役社長 西山 秀樹
従業員数 ● 373人
資本金 ● 7,500万円
業種 ● ソフトウェア開発、システムコンサルティング、システム・ネットワーク設計、
事業内容 ● 情報処理サービス、iDC(サーバ運用管理サービス)、パッケージソフト導入サービス、ホームページ作成・情報発信サービス、集金代行サービス(北海道ワイドネットサービス)、コンピュータ・OA機器販売・サポート&サービス、コンピュータサプライ用品販売
URL ● <http://www.lilac.co.jp/hdc>

テレワーカー システム管理部
中川 浩一さん



障がいを抱えての就労、在宅勤務で負担が軽減

株式会社HDCのシステム管理部主任、中川浩一さんは、もともと身体の障がいを抱えながら働いていましたが、通勤による体への負担が大きくなり職場に相談。以来、完全在宅勤務をしています。以前は「会社で体がしんどいと感じることが多く、就労後も疲労が残っていました」と振り返ります。在宅勤務を始めてからは体への負担が減り、安心して働けるようになったと話します。

自宅では、専用スペースで自分のパソコンから会社の自席にあるパソコンを遠隔操作し、会社と同じ環境で働くことができ

ます。仕事の内容は、社内のシステムをプログラム修正することが主です。顧客とのやり取りが必要ないため、自宅でスムーズに作業を進めることができます。 「在宅のデメリットを強いてあげるなら、…上司に少し確認したいことを遠慮して後回しにしてしまうことがあるくらいでしょうか」と笑う中川さんですが、2週間に一度の部内会議には「Skype(スカイプ)」を使って参加し、職場とのコミュニケーションは良好で、現在の働き方に満足している様子がうかがえます。



人材開発部 部長
園田 仁さん

社員の要望に応え在宅勤務を導入

株式会社HDCはソフトウェア開発からシステムコンサルティング、システム・ネットワーク設計、情報処理サービス等、ITに関する幅広い事業を展開しています。テレワークを導入したきっかけは、中川さんの希望でした。人材開発部の園田仁部長は、「身体の障がいにより通勤が困難であるという相談を受けて、在宅勤務の導入を検討し始めました。セキュリティ対策をどうしたら良いのか、といったことを調べるところからのスタートでした」と経緯を説明します。

現在は、富士通ネットワークソリューションズの「モバらくだ for PC」というテレワーク専用のシステムを導入しており、社員が自宅のPCから会社の自席PCを遠隔操作できる環境を整えま

した。「PC端末にデータが残らずセキュリティ面でも安心です」と話します。また、勤怠管理はマイクロソフト社の「Office365」を使うことでPC操作履歴を確認できるほか、始業・終業時にメール連絡します。

テレワークの環境を整備したメリットは、それだけではありませんでした。育休中の女性社員が担当するプログラムの緊急修正が必要になった際、2日間ほど自宅で働いてもらい対応できたそうです。園田部長は「今後は介護をする社員も増えてくるのではと考えています。育児や介護、障がいなどの理由がある社員には在宅勤務を認められるよう、社内規定の変更の準備を進めているところですよ」と言い、さらなる環境整備に取り組んでいます。